

# 令和4年度 宮前区地区研究報告

## 1. 研究主題 「自分の健康を守る力を育てる保健教育」 ～子どもたちに興味・関心をもたせる工夫～

### 2. 主題設定の理由とねらい

宮前区養護研究会では、平成27年度宮前地区研究発表会を機に、毎月の各学校の健康目標に沿って計測前の短時間や朝の会の時間を中心に保健教育を実施していた。今回宮前区で研究に取り組むにあたり、各校の現在の健康課題について話し合いとアンケート調査を行った。すると、不注意によるけがの多さや些細な負傷で手当を求めるけがの問題、健康診断の結果から見える視力低下の低年齢化、習い事やメディアの影響などによる睡眠不足が多くの学校から挙げられた。そこで、「けが」「目・視力」「睡眠」の3つの健康課題にグループ別に取り組むこととした。課題解決の手だてとして、これまで実施していた計測前のミニ保健指導を発展させ実践したいという意見が多かった。一つの題材を低学年・中学年・高学年の発達段階に応じた内容にして実践していき、グループで学級活動や体育科保健領域の授業実践にも取り組むこととした。研究課題と手立てを決め、宮前区で育てたい子どもの姿を話し合った結果、自分で自分の健康を守る、健康に興味や関心をもつ、という意見が多く総意としてまとまった。そこで、研究主題を「自分の健康を守る力を育てる保健教育」とした。また、子どもたち自身がからだや健康に関して興味・関心をもつことで、より効果的かつ継続的に自分の健康を守る力を育てることができると考え、副題として「子どもたちに興味・関心をもたせる工夫」を設定した。健康課題について興味・関心をもたせられるような保健教育を発達段階に応じて行うことで、子どもたち自身が自分で自分の健康を守る力を育てることが本研究のねらいである。

### 3. 研究経過

グループごとにねらいを決めて計画と実践を行うこととした。ミニ保健指導の課題把握や改良に役立てるための「児童の興味・関心の高まりを捉える書式」と「実践した内容を記録する書式」を統一形式で作成した。結果、児童用「ふりかえりカード」、養護教諭用「実践報告シート」を完成させた。また、ミニ保健指導や授業にGIGA端末の活用を取り入れることを試みた。これは、GIGA端末を用いることで子どもたちの興味・関心を高め、より本研究のねらいに迫っていきたいと考えたからである。

## 令和4年度

- 4月 研究テーマの確認、グループ別研究推進
- 5月 冊子原稿作成、グループ別研究推進
- 6月 冊子原稿作成、グループ別研究推進
- 7月 冊子原稿作成、研究報告会読み原稿作成
- 8月 冊子原稿確認・訂正作業、研究報告会読み原稿・スライド作成
- 9月 冊子原稿確認・訂正作業、研究報告会読み原稿・スライド作成  
研究指導助言：川崎市立戸手小学校 校長 後藤 美智子 先生
- 10月 冊子原稿確認・訂正作業、研究報告会読み原稿・スライド作成  
研究指導助言：川崎市総合教育センター カリキュラムセンター  
指導主事 野口 裕子 先生
- 11月 研究報告会読み原稿・スライド作成、研究協議の柱について検討
- 12月 研究報告会準備（冊子配送作業、原稿・スライド最終確認）
- 1月 研究報告会リハーサル、研究報告会
- 2月 今年度の研究のまとめ
- 3月 来年度へ向けての検討

## 4. 今後の課題

発達段階に応じた工夫をすることで、指導の成果を感じられた。今後、系統性を考えた題材や教材を、GIGA端末を活用し、作成していきたいと思う。誰でも使える教材や資料を作成し共有することで、日々の個別指導等でも生かすことができると考える。また、グループを越えての実践を行うことで、情報の共有化、客観性や新たな視点を持つことができるので、継続して実践を共有し、改善して取り組んでいきたい。ミニ保健指導の内容に深みを持たせ学級活動や体育科保健領域の指導に生かしていきたい。そのため、指導時間の確保や指導場面の設定などの計画的な取り組み、養護教諭不在時の保健室の対応をどうするか、学級担任との連携を密に行っていく必要があると感じた。